

令和4年12月22日からの暴風雪等に係る
北海道災害対策連絡本部員会議 概要

北海道総務部危機対策局危機対策課

- ・日時 令和4年(2022年)12月23日(金) 15:00~15:30
- ・場所 北海道庁3階テレビ会議室
※ 全(総合)振興局及び東京事務所とテレビ会議を接続

1 開会(副本部長:浦本副知事)

これより、令和4年12月22日からの暴風雪等に係る北海道災害対策連絡本部員会議を開催する。

2 状況報告

(副本部長:浦本副知事)

発達した低気圧が北海道付近にあり、暴風雪や大雪などによる被害の拡大が懸念されることから嚴重な警戒が必要な状況。

(1) 気象状況(札幌管区气象台:気象防災情報調整官)

<気象状況について、資料に沿って説明>

(2) これまでの対応状況等(危機管理監)

<対応状況等について、資料に沿って説明>

(3) 連絡本部各班からの報告

ア 総合政策部(交通企画監)

- ・交通機関の状況について、報告する。JRの運行状況について、道北、道東方面を中心に、特急、快速・普通列車の運休が多発している。13時現在で、特急31本、快速・普通列車117本、計148本が運休している状況であり、その後も運休が発生しているとの情報が入ってきている。
- ・航空機の状況について、新千歳空港を含む道内空港12のうち、9つの空港で計68便が欠航している状況。道外便は北陸便を中心に37便が欠航している。なお、札幌-新千歳空港間については、空港連絡バスの一部系統に運休が発生しているが、JRは通常運行となっている。
- ・バスの運行状況について、道北、道東方面を中心に都市間高速バスの終日運休が発生しているほか、北見市内の市内線全路線が終日運休するなど、道北、道東方面の運休が多数発生している状況。
- ・引き続き、交通事業者からの情報収集により、情報把握に努める。

イ 保健福祉部（保健福祉部長）

- ・当部が所管している医療機関、社会福祉施設等について、現時点での被害の報告はない。道内各地で停電が発生していることから、各保健所及び振興局社会福祉課に対し、必要に応じ医療機関や社会福祉施設等に対して状況確認を行うよう指示をしたところ。

ウ 建設部（建設部長）

- ・道道の通行規制状況について、本日13時現在で22路線23区間を通行止めとしている。また、道東の道道7路線において、1台から数台の小規模なスタックや立ち往生が発生したが、現在は全て解消済みとなっている。さらに、音更町の音更-池田線において倒木が道路を塞いだ状態となっており、現在、撤去に向けた対応を行っているところ。
- ・海岸については、波浪、高潮警報が解除となった地域からパトロールを開始しているところ。
- ・昨日から各建設管理部に対し、大雪、暴風雪等に係る注意喚起を行っており、本日14時にも行っているところ。

エ 宗谷総合振興局（宗谷総合振興局長）

- ・現在、宗谷地域は湿った大雪を伴った暴風が吹いている状況。今後、明日昼までに更に30センチから50センチ程度降る可能性があることから、ホワイトアウトによる交通障害、停電の発生を懸念しているところ。救急車等の緊急車両や停電復旧作業車がホワイトアウトの中、迅速に通行するため、場合によっては除雪車両が先導することも計画しているところ。特に停電は生命に関わることから、非常に心配しており、停電復旧までに長時間を要する等の深刻な事案が生じた際には、復旧作業はもとより、避難所の開設や非常用電源の確保のほか、要配慮者の救出、移送等の対応が想定され、各関係機関との情報共有、連携協力を特に密にしていかなければならないことから、災害対策地方連絡本部指揮室を振興局に設置することも視野に入れているところ。このほか、災害救助法の適用や自衛隊による災害派遣が必要な場合も想定されることから、今後の対応についてよろしく願います。

オ 日高振興局（日高振興局長）

- ・日高管内においては、昨日11時過ぎに、えりも町に暴風警報、16時過ぎ、浦河町、様似町を加えた東部3町に暴風波浪警報が発表され、特に風の影響が大きかったえりも町では、最大で40メートルを超える暴風となった。暴風の影響による被害の状況については、昨夜22時過ぎから相次いで停電が発生し、えりも町では、一時期、全域での停電が発生し、様似町、浦河町にも影響があったところ。停電については現在、浦河町及びえりも町の一部地区において続いているが、北海道電力からの情報によると、本日中の解消を目指し復旧作業中と聞いている。停電被害による町の対応については、えりも町において、本日8時45分に災害対策本部を設置し、特に停電の影響が大きい岬地区、東洋地区に自主避難所を開設したところ。現時点で、避難している住民はなし。また、えりも町では住民の要望に応じ、高齢者の単身世帯への灯油の配布や携帯電話の充電等の対応をしているところ。

- ・日高管内において、人的被害はなく、住家被害については、現在確認を行っているところ。振興局としては、8時45分に日高地方連絡本部を設置し、被害情報等の情報収集にあたっているところ。現在も停電が続いていることから、引き続き関係機関と連携し、情報収集を行うとともに、町からの協力要請があった際には、しっかりと対応していきたいと考えているところ。

カ オホーツク総合振興局（オホーツク総合振興局長）

- ・気象警報等の発表状況について、昨日16時30分頃に北見地方、紋別地方の10の市町村に、そして今朝の3時30分頃に、美幌町、津別町の2町に大雪警報が発表され、現在も継続している状況。また、本日10時50分頃に、紋別地方に波浪警報が発表され、現在も継続している状況。
- ・ライフラインの状況については、高規格道路を含めた国道4路線、道道7路線が通行止めとなっている。JRについては、石北線が終日運休、釧網線が8時20分頃から終日運休となっており、バスについては、札幌、旭川、釧路方面へ向かう都市間バスが終日運休となっているほか、北見市内の発着路線などの一部運行会社が終日運休となっている状況。国道、道道においては、今朝までに北見市の周辺において、トレーラーや乗用車のスタックが数件発生したが、除雪対応により全て解消している。停電の状況については、管内各所で断続的に発生しており、雄武町において一時的に最大540戸発生したところ。町では、避難所を3箇所開設し、最大2名が避難したとのこと。停電は、14時20分に解消されている。
- ・振興局としては、人命最優先という共通認識のもと、引き続き市町村、関係機関と連携し、被害状況等の状況把握に努め、必要な対策に取り組んでまいりたい。

キ 根室振興局（根室振興局長）

- ・根室管内においては、中標津町を除く1市3町において、昨夜から今朝にかけて高潮警報が発表され、現在も継続している状況。振興局としては、各市町に被害状況の確認を行っているところであるが、現在のところ、人的、物的被害の報告はされていない。引き続き、情報収集のあたっていくところ。

（4）防災関係機関からの報告

ア 北海道開発局（災害対策管理官）

- ・昨日17時から、日高山脈を往来する地域で通行止めとしていた国道4路線5区間について、本日の11時に国道236号線の野塚峠の通行止めを解除し、残る区間の日勝峠、樹海ロード、日高峠、狩勝峠については、本日15時に通行止めを解除したところ。昨晚から本日の午前中にかけて通行止めとしている国道39号の石北峠、国道273号の三国峠、国道333号線の北見峠、旭川紋別自動車道の旭川層雲峡インターから遠軽インター、十勝オホーツク自動車道の全区間、国道244号の一部区間、これらについては、現在のところ解除の見通しはたっていない。天候回復を待ち、路面状況等の安全な通行が確認され次第、解除に向けて、報道機関等に発表していきたいと考えている。

イ JR北海道（安全推進部 副部長）

- ・現在、運転見合わせを行っているのは、宗谷線が名寄から稚内まで、石勝線の新夕張、根室線は滝川から釧路まで、石北線は上川から網走まで、釧網線の網走から釧路までの全区間となっている。このうち、根室線の音別釧路の一部普通列車を除き、本日終日の運休を決定している。現時点で、運転再開の見通しは立っていない。明日の運転計画についても、現在検討中の状況。計画等が決定次第、ホームページでの周知や報道機関への案内等を実施していくので、確認願いたい。

ウ 北海道電力（総務部 防災グループ）

- ・昨日からの風雪の影響で、倒木等により全道各地で停電が発生している状況。13時現在の延べ戸数は、47,000戸程度となっている。現状としては、13時現在で約5,000戸程度となっており、道北、道東、日高、十勝を中心に発生している。3,000～5,000戸を推移している状況となっている。広域的な作業を実施し、復旧活動に努めているところ。巡視関係で述べ約550人、復旧作業員として約350人を動員し、作業にあたっているところ。北海道電力本部としては、警戒体制を立ち上げ、早期復旧に向け、取り組んでいるところ。復旧見通しは全道各地で発生しているため、説明が難しいが、見通しが立っている地域については、随時ホームページでお知らせしていくので、確認願う。

3 本部長指示（本部長：鈴木知事）

- ・ただ今、札幌管区气象台から、今後の気象の見通しについて、また、関係機関や各部局から、それぞれの対応状況などについてご説明いただいたところ。
- ・発達した低気圧により、道内は昨日夜から、広い範囲で暴風雪や大雪に見舞われ、現在、幹線道路などが通行止めとなっており、約5,360戸で停電が続くなど、道民の皆様の生活に大きな影響が生じている。
- ・強い冬型の気圧配置は週明け26日頃まで続くことが予想されており、今後の状況によっては、道民の皆様の生活への影響が長期化し、拡大する恐れもあることから、庁内各部局や防災関係機関の一層の連携・協力の下で、応急対策をより円滑に行えるよう、本日13時、この冬初めてとなる「災害対策連絡本部」を設置したところ。
- ・宗谷地方では、明日の明け方まで、見通しの全くきかない猛吹雪などによる交通障害に引き続き警戒が必要なほか、その他の地域でも、明日にかけて、大雪や吹雪などによる交通障害や、湿り雪の電線の着雪による停電などに十分な注意が必要。
- ・大雪が予想される地域にお住まいの道民の皆様におかれては、最新の気象情報に注意いただき、不要不急の外出を控えること、やむを得ず外出する場合には、公共交通機関の運行停止や道路の通行止めなどの交通情報を確認すること、除雪作業中の事故や屋根からの落雪に注意することなどに十分に警戒し、身の安全を確保する行動をとっていただくようお願いする。
- ・各部局・振興局においては、人命最優先の考えのもと、被害の発生の未然防止や被害を最小限に抑えるため、情報収集や応急対策に全力で取り組むよう指示する。
- ・加えて、北海道開発局や北海道電力、JR北海道の皆様には、今も懸命に除雪作業や復旧作業などにあたっていただいていると存ずるが、被害の拡大を防ぐことができるよう、引き続き、必要な体制の構築をお願いする。

- ・また、本日お集まりの防災関係機関の皆様におかれても、緊密な連携・協力を引き続きお願いします。

4 閉会（副本部長：浦本副知事）

各本部員・防災関係機関の皆様におかれては、ただいまの副本部長の指示について、必要な対応をお願いします。

以上をもって、北海道災害対策連絡本部員会議を終了する。